

# 咲む

全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画

『咲む』上映会ニュース 2020年12月1日 No.4

発行：全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画製作委員会

公式HPサイト



<https://www.emu-movie.jp>

Instagram



[https://www.instagram.com/emu\\_movie/](https://www.instagram.com/emu_movie/)

Twitter



[https://twitter.com/emu\\_movie](https://twitter.com/emu_movie)



## 千葉県



## 10月31日千葉県文化会館上映会

10月31日（土）、千葉県聴覚障害者協会主催による上映会が、千葉県文化会館小ホールにて開催されました。



千葉県で初めての上映会ということで会場定員を大きく上回るお申込みを頂戴し、午前の部・午後の部合わせて244名の方々にご来場いただきました。コロナ禍により定員数が半分にされたことは本当に残念でしたが、入場にサーマルカメラ検温機の設置、消毒液、販売スタッフは手袋の着用、上映会場では1席ごとに着席していただくなど新型コロナウイルス感染防止対策を徹底いたしました。



入場を待つご来場者から、「全国ろうあ大会が中止になって観られなかったものね。」「やっと『咲む』が観られるね!」「主役の子かわいい。」など、期待に満ちたやりとりがされていました。上映後、たくさんの拍手が会場中に広がり、涙ぐむお客様も多くいらして、感動のなかで上映会は終了しました。『咲む』プログラム、Tシャツ、ろう重複障害者作業所<らいおん工房>のクッキーなども大人気!! お客様も スタッフも笑顔あふれる上映会となりました。

### —感想—

- ♥ 瑞月のように、あきらめず人とコミュニケーションをとることの大切さを再認識できました。
- ♣ 涙なしでは見られませんでした。手話を普及したいと本当に思いました。菜々子さんがとてもかわいかったです。
- ◆ 障害を持つ親の気持ちがとてもよくわかります。守ってくれてありがとう、の言葉がとても胸にひびきます。
- 深く考えさせられました。手話がもっと上手になりたいと思います。
- ★ 途中から泣きっぱなしでした。力強い生き方に感動しました。♥ 娘を育てている時のことを思い出しました。
- 👏 アカデミー賞ものですよ! ★ 予想の何百倍も見ごたえのあるストーリーでした。
- ◆ 手話と関わりのない人にも観てもらいたい。 ● 聴覚障害者のいろいろな苦勞が垣間見えました。
- 👏 私も同じ看護師なのでとても感動しました。 ◆ 続きが見たくなりました。





11月8日（日）、鳥取県聴覚障害者協会主催による人権講演会（トークショー）&上映会が、米子市文化ホールにて開催されました。

上映会は午前の部と午後の部の2回実施し、合わせて342名の方々にご来場いただきました。

検温・アルコール消毒・座席のフィジカルディスタンスなど感染症対策を万全にし、皆様に安心してご鑑賞いただくことができました。

映画に対しては、「きこえない、きこえにくいことやさまざまな障害も関係なくとても感動する内容の深い、いい映画だった」と高い評価をたくさん頂戴しました。



午前の部と午後の部の合間に人権講演会（トークショー）が開催されました。

トークショーには、きこえない人34名、きこえる人85名、合わせて119名の参加がありました。

ゲストに早瀬監督、藤田菜々子さん、平井鳥取県知事をお迎えし、鳥取県協会の石橋事務局長がファシリテーターとなりトークショーが展開されました。

平井知事は、お仕事の都合で30分の時間制限がありましたが、知事のジョークや撮影秘話が披露され、会場内は終始楽しく和やかな雰囲気でした。

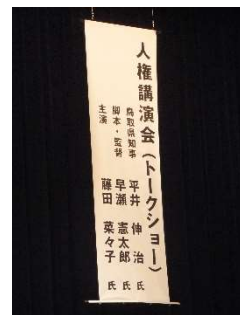
早瀬監督と鳥取県の『縁』を知り、ご来場の皆様もとても親近感がわいたようです。

ゲストの皆さんのお話しがとても上手で、あっという間に時間が過ぎました。



### —感想—

- 🍃 平井知事との掛け合いが大変面白かった。
- ♥️ 映画を作る過程の話が聞けて良かったです。80周年記念映画が楽しみです。
- ♣️ 奈良と鳥取が似ているとのお話がありましたが、飛鳥や淀江の風景がダブリました。
- ♦️ この映画が鳥取県内で撮影されたことに感謝！
- ♥️ 藤田さんの屈託のない笑顔と手話表現に惹かれました。
- ★ 早瀬監督の熱い想い、藤田さんの人柄、平井知事の裏話は、どれも映画を楽しむため、掘り下げるために聞けてとっても良かった。



上映会各回終了後にサイン会を行いました。皆さまにご満足いただけた一日となりました。



11月22日（日）、山梨県聴覚障害者協会主催による上映会が、富士河口湖町勝山ふれあいセンターにて開催されました。山梨県での上映会は2回目なので、運営や新型コロナウイルス感染防止対応方法もわかってきたので、密にならないように工夫しながら実施し、会場定員を超える116名の方々にご鑑賞いただきました。



皆様から、「よかった!」「感動した!」との声を多く頂戴し、クリアファイルと付箋のセットが人気でした



### —感想—

- ♥ 障害あるなし関係なく人の役に立てるのは生きていくのに大切だなと思いました。
- ★ 前向きに生きる事は難しい時もありますが、勇気づけられる良い映画でした。
- ♣ いつもいつも優しく接していけば必ずわかってもらえる涙の出る場面がいっぱいです。
- ◆ 障害と共に前に進むとは?ということを考えさせられました。
- ♠ 障害がある人もない人も尊い命ということあらためて思いました。最後の瑞月の美しかったこと、それがやはりこの映画の集大成と感じました。
- 映画の冒頭にもあったように、耳が不自由なことをハンディだと思っていない主人公がすごいなと思いました。どんな状況でも彼女のように笑顔を絶やさずに頑張りたいです。
- ✎ 本当によい作品でした。涙でいっぱいです。「生まれておめでとう」大切な人にも自分にもかけてあげたい”言葉“です。また観たいです。大きすぎる勇気をいただきました。
- ◎ わたしはおばあちゃんにさそわれてみてみました。とてもいいおはなしでした。わたしはおかあさんがしゅわつうやくをやっていたのでわたしもしゅわきょうしつにいています。しゅわはたのしいものだあらためて感じられました。
- ♥ 主人公の前向きに感銘を受けました。また「誰も悪くないのに」というセリフが印象的でした。

### 【報告】

◆ 11月15日（日）、神奈川県ろうあ者大会が横浜市戸塚公会堂で開催されました。午前、県内でのPRの一環として行政関係者対象の上映会を行いました。午後は、県ろうあ者大会に上映会を組み込み、上映後の企画として早瀬監督のミニ講演、メイキング上映、河本準一さんとのトークショーなど行いました。上映+トークの組み合わせはとても好評で、216名のご来場者に『咲む』をより深く楽しんでいただくことができました。

◆ 11月21日、二宮町生涯学習センターラディアンで上映会を開催し、午前午後あわせて291名の皆様にご鑑賞いただきました。映画は大変好評で、アンケートでは今回鑑賞しなかった町民たち、特に小中学生にも見てもらいたいという声がたくさん寄せられました。地元の法人会と共催で行ったこと、地元の行政・議員などに周知の協力をお願いしたことにより集客に大きな効果が現われました。また、会場が使用できる時間が限られている中、準備や新型コロナウイルス感染防止対策に気を遣いながら色々工夫して対応したことで、ご来場の皆様に安心してご鑑賞いただくことができました。



# 栃木県 10月11日宇都宮市とちぎ健康の森 講演会

11月11日（日）、栃木県宇都宮市とちぎ健康の森の講堂にて、早瀬監督、藤田菜々子さんによる「2020年秋のトークショー～映画『咲む』裏話～」が行われました。

**2020年 秋のトークショー**  
～映画『咲む』裏話～

監 督 早瀬 憲太郎  
平子 瑞月 役 藤田 菜々子

●加 料 協会の正会員、賛助会員、学生 1,500円  
上記以外 1,800円（事前に参加費をお求めください）

日時 2020年10月11日（日） 受付 14時開始  
トークショー 14時30分～16時30分（予定）  
会場 とちぎ健康の森 講堂  
定員 200名  
主催 一般社団法人栃木県聴覚障害者協会



新型コロナウイルス感染防止対策を十分に施したうえで開催し、栃木県内からきこえない人52名、きこえる人48名の合わせて100名が集まりました。

早瀬監督、菜々子さんに映画の裏話、製作までの流れなどお話ししていただきました。

『咲む』の手話表現はどうやって決まったのか、ものすごく沢山の応募があったキャストのオーディションの楽しい裏話、『咲む』に出演していただいた盲ろう者の石黒昌道氏をスカウトしたきっかけ…などなど、映画本編を見ただけでは分からない色々なお話があり、参加者も大満足。

また、サプライズとして石黒昌道氏もわざわざ宮城からいらしてくださり、ゲストの2人もびっくり！再開を喜び合いました。

時間の都合で全部は語り尽くせませんでした、講演会を通して皆さんに『咲む』の魅力をより深く知っていただくことができました。



## ★『咲む』盲ろう者対応について

『咲む』では、盲ろう者に対する情報保障の一環として、盲ろう者通訳・介助員用事前資料を作成し、加盟団体の皆様に配布いたしました。内容は、『咲む』映画ガイドライン、盲ろう者通訳・介助員用完成台本、盲ろう者通訳・介助員用音声ガイド資料となります。こちらの完成台本は、早瀬監督が自ら通訳ポイントを記入してある台本です。また、音声ガイド資料は、どのような場面説明がされているか、事前に知っていただくためです。地域上映会に盲ろう者の皆様がいらして『咲む』を十分にお楽しみいただけるよう、ご活用をお願いいたします。また、盲ろう当事者用に『咲む』プログラムを、点訳・音訳・拡大等できるデータを準備しております。こちらも出来上がり次第、加盟団体の皆様にご案内いたします。

## ★『咲む』グッズ販売・募金状況（11月25日までの10会場）★

アイテム	数量	アイテム	数量
プログラム	272部（5会場）	季刊みみ168号	178部
Tシャツ	275枚	クリアファイル	335枚
付箋	121個	募金額（10月末）	798,086円

10月31日の千葉県上映会では、来場者244名でプログラムを94部販売しました。また、11月22日の山梨県上映会では、クリアファイルと付箋をセット販売し、38セット販売しました。皆様の地域でのプログラム・グッズ販売の工夫・アイデアなどお知らせください！

上映会でのグッズ販売・募金報告をお待ちしています！！